

⑤ 図書館前芝生エリア

金瀬、中田、畔柳、高杉、白川

ファシリテーター：室田

評価軸A：日陰の適度さ

◦ 生協側 — 適度な日陰、太陽が見える



◦ 図書館側 — 樹、日陰なし

◦ そもそも、日なたなイメージの芝生があるので、日陰はあまり必要なし

評価軸A：植え方の適切さ

- 芝生 — 子供の遊び場という意味での公園として利用
⇔ 矢内原公園
- 芝生の中の大木 — その下に座りやすい

評価軸A：場に対する景観のふさわしさ

- 銀杏並木から道と樹が続いている
⇒キャンパス全体の景観にマッチ
- 周りの建物との調和
建物に囲まれたギャップとしての芝生
樹高が低い分、ガラス張りの建物に陽が差す
- 開放的、明るい←休み時間に人が集まる

評価軸A：生物種の豊富さ

- ò 生物が少ない
矢内原公園には多い蚊など、虫が特に
- ò 鳥（ハト、スズメ）はいる

評価軸A：体感温度の快適さ

評価軸B：位相変化の大きさ

○ 日陰が少ない

⇒夏は暑いですが、他の季節では暖かい

評価軸B①：手入れが行き届いているか

〇 整備されているかわからない ↔ 銀杏並木
(樹が点在していて変化を感じない)



〇 放置されているわけではない

評価軸B②：落ち葉などの清掃はできているか

- 落ち葉があまり溜まっていない
 - ↔ 矢内原公園、900番講堂
 - ↔ そもそも、落葉樹が少ないから？
- ポプラ（ユリノキ？）の綿が迷惑（今年は去年より減ったかも？）
- 書籍部の前の樹の実 座る人、踏む人に迷惑

評価軸B③：居心地の良さ

- 日当たりのよさ、ベンチ⇒居心地
(真夏以外) 食事とりやすい
- 人がいつもいて、滞在しやすい
↳ 静けさ：矢内原公園

評価軸B④：季節感

- 芝生が夏っぽいのが、基本的に季節感なし
← 落葉樹（銀杏並木）、桜（野球場）など
季節で目が引くものが少ない
- あえて季節感がない？
季節感と管理の天秤

その他の特色（個人的意見より）

- ò 鬼ごっこに特に適した広さ
- ò キャンパス計画としてコンセプトを感じる
→季節感を感じない原因
- ò 風通しがよく感じる

もっと素敵にするには

- 管理のしやすい樹を植えていく
- 季節感を感じる花の花壇、プランターを置く
← 管理と季節感の両立
- もう少し木陰やベンチを置く
→ より居心地をよく